

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

ワークショップ実施計画書

制作団体名	特定非営利活動法人 伝統芸能交流ネットワーク
公演団体名	八王子車人形 西川古柳座

内容
<p>★八王子車人形ってなんだろう 八王子車人形の仕組みや工夫・実演を交えてわかりやすく解説します。 車人形は1人でろくろ車に乗って演じるもので、 実際に児童生徒にも箱車に乗って体験していただきます。 箱車を使った人形芝居は世界にも類を見ない工夫が詰まったもので 実際に触れることで伝統芸能の面白さを学べます。</p> <p>★車人形を分解してみよう！ 代表児童生徒に車人形を分解、組み立てを行ってまいります。 組み立てたあと、人形遣いといっしょに人形を動かします。</p> <div data-bbox="343 1097 582 1355"></div> <p>人形の頭（かしら）の仕掛けは、目、口、眉毛が動き、角が出て 鬼女に変身したりと子どもの興味をひきます。</p> <p>★A班とB班に分かれて練習・体験します A班-まるで時代劇！ 立ち回り（チャンバラ）・つけ打ち（演出効果音）体験 人形を使って立ち回りに挑戦していただきます。 またそれに合わせて打つ、 つけ打ちは演出効果音の役目です。</p> <p>グループを作り順番に 交代、交代で体験していただきます。 人形の数に限り有り</p> <p>B班-義太夫体験 素浄瑠璃教室『義経千本桜小金吾討死の段』『忠臣蔵裏門の段』など 義太夫節の種類、発声方法やその役目まで楽しくわかりやすく解説いたします。 独特な発声方法と語りを体験していただきます。 義太夫を語る時、衣装として肩衣（肩衣）をつけます、(5～6着当方用意)</p>

タイムスケジュール（標準）

（例）ワークショップ 10：00 開始
9：00～ 会場入り
10：00～ ワークショップ開始 車人形の解説や仕組みの紹介
10：30～ A 班 B 班に分かれて練習開始
～12：00 ワークショップ終了
～13：00 撤収

派遣者数予定

人形役者 3 名 義太夫 2 名 三味線 1 名

学校における事前指導

八王子車人形の仕組み等を記載した資料を配布する。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	特定非営利活動法人 伝統芸能交流ネットワーク
公演団体名	八王子車人形 西川古柳座

演目
公演を祝って『二人三番叟』 八王子車人形ってなんだろう 八王子車人形教室 体験：素浄瑠璃体験『義経千本桜 小金吾討死の段』など 八王子車人形『立ち回り・つけ打ち』 『日高川入相花王-渡し場の段-』 - 安珍清姫のお話-

派遣者数
人形役者 6名 義太夫 4名 スタッフ 4名

タイムスケジュール（標準）
（例） 前日仕込み 7時～11時 会場入り 11時 リハーサル等 13時30分 開演 15時 終演 17時 撤去等終了 退出

実施校への協力依頼人員

ワークショップ実施にあたって体育館床をロープなどで仕切ってワークショップ練習スペースを作りますので体育館の掃除、乾拭きを事前をお願いいたします。(ワックスなどは人形や衣装が汚れるため不使用)

協力人数は上記作業の為お任せ致します

演目解説

◆二人三番叟

二人三番叟は、能の「翁（おきな）」から出たもので、歌舞伎や人形芝居の最初に演じられる。舞台の無事を祈ったり、豊作を祈ったりと神事としての性格が強くある演目です。

◆生徒体験 素浄瑠璃体験 八王子車人形「つけ打ち 立ち回り」

ワークショップを体験した生徒による発表。義太夫と生徒の語りと舞台を演出するつけ打ちに合わせ、舞台上で車人形を操る生徒が立ち回りを演じます。

素浄瑠璃は「義経千本桜 小金吾討死の段」や「忠臣蔵裏門の段より」など有名な演目から選出し体験していただきます。

◆日高川入相花王-渡し場の段

日本で有名な「安珍清姫」を人形で演じた作品の1つ。

道成寺ものと呼ばれる浄瑠璃、歌舞伎の演目の一つ。朱雀天皇の弟桜木親王は失脚し、山伏安珍となって追手から逃げていた。途中紀の国（現在の和歌山県）の豪族の娘清姫と出会い見染められる。親の許しを得て会う約束の日安珍は現れない。逃げた安珍を追う清姫が怨念の蛇体となり、日高川を渡るのは圧巻です。

日高川を渡る時の大波、小波、蛇体を操る際、7名前後児童生徒にお手伝いお願いします。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

ワークショップで練習した内容を本公演の中で発表する場合があります。
義太夫と共に語りを演り、またそれに合わせて舞台を演出するつけ打ちや
車人形を操り舞台上で立ち回りを披露していただきます。

また日高川入相花では蛇に化けた清姫や荒れ狂う日高川を人形役者と共に演じます。

児童生徒とのふれあい

車人形や義太夫に触れることで、車人形の仕組みやデザインの面白さや人形を1人で操る工夫や義太夫節で場面をつくる楽しさなどを体験してほしい。

